

# Healthy



# Smile

2014年7月発行 第36号

先日の7月6日 当院の院長と衛生士 塚越芳子が「PDS研究会  
ケースプレゼンテーション」にて発表しました。詳細は次頁へ



講演中の院長



講演中の衛生士 塚越



**わたなべ歯科医院**

〒362-0011

埼玉県上尾市平塚1691 8

TEL 048 777 0404

FAX 048 777 2811

<http://www.watanabedc.com>

お知らせ 夏休みは 8月14日～8月20日になります

# PDS研究会

## 第1回 ケースプレゼンテーション (症例報告会)

### 開催 報告記

去る2014年7月6日 日曜日 お茶の水にある東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂にて、当歯科医院が参加しているスタディーグループのPDS研究会主催の症例報告会が開かれました。この研究会は、発足26年を迎え現在会員数が70数名、参加歯科医院は当院を含めて11歯科医院の大所帯であります。今回は、会員以外の歯科医院に向けて、ふだん私達が学術誌・業界誌を通じて発表している症例報告を5歯科医院が代表して発表させていただく会となりました。

当日は梅雨の間の晴天に恵まれ、日曜の行楽日和にもかかわらず、北は福島県から南は愛知県に至るまで300名近い参加者が集まりました。参加者は、歯科医師、歯科衛生士がメインでしたが、中には歯科衛生士学校の学生さんの姿もあり、皆さんとても真剣にメモをとられる姿が印象的でした。

発表の内容といえば、各歯科医院に15年、20年を超える長期にわたり通院して下さっている患者様たちと、院長はじめスタッフたちがどのように関わらせていただき、いかにお口の中の快適な状態を長きにわたって維持してきたかということが主なものです。さらに技術的なことはもちろん、患者様をサポートしていくために精神的・心理的な面から各医院で工夫している点などについても話が広がり、とても中身の濃いものとなりました。発表の終盤には、活発な質疑応答が交わされ、参加者の熱心さが伝わる講演会となりました。右に参加者のアンケートを少しご紹介いたします。



▲当日会場となった  
東京医科歯科大学です



▲受付の様子です



▲PDS研究会の紹介です

▼当日の会場内は、  
熱気にあふれていました



◀ 講演後、  
壇上にて  
質疑応答の時間



▲終了後は、懇親会となりました

私は、現在歯科衛生士学校の学生です。歯科衛生士の仕事がこんなに素晴らしいものだと思って嬉しかったです。

こんなに長期間にわたり、患者様と関われる環境で働けるということは、なかなかないことだと思います。

あすからの自分の仕事のモチベーションが上がりました。ありがとうございました。

自分たちもこの会に参加して、技術の向上をし、スタッフ同士のつながりを深めたいと思いました。

# 6歳臼歯を守ろう！

その1

皆さんは普通子供さんの歯が何本あるかご存知ですか？上下合わせて20本。では、これが大人になると何本でしょうか？ 答えは28本（親知らずを除いて・・・）。この28本の大人の歯の中で特にむし歯になりやすいのが、いわゆる6歳臼歯と呼ばれる第一大臼歯です。6歳以降に乳歯のもっと奥にはえてきます。その生え方とは、歯のとんがった山の一部分が、少しずつ少しずつ歯茎を破ってお口の中に現れてきます。ちょっと前に、小笠原諸島に新島が出現して話題になりましたが、ちょうどあんな感じを想像して下さい（笑）。生えだした頃やその途中で、「歯ぐきが痛い」と来院される子供さんもいらっしゃいます。で、今回はこの6歳臼歯のお話です。実はこの歯は、とってもむし歯になりやすいんです。実際、比較的むし歯の少ない方でもこの歯だけは、治療済、要するにむし歯になった経験がある方がとても多いのです。どうしてでしょうか？

まず考えられるのが、生えてきたことに気がつくのが遅くなる傾向にあるということでしょうか。永久歯は、乳歯が抜け代って生えてくるというイメージがありますが、この6歳臼歯（第一大臼歯）ともう一つ後ろにある第2大臼歯は、乳歯が無いところに生えてくるんです。ですから、知らないうちに生えてきて知らないうちにむし歯になっていたなんてことになりかねません。お年ごろの子供さんがいる方は、お口に中に十分注意を払ってあげて下さいね。

次に考えられる理由は、生えたての永久歯は完成した大人の歯と比べて、石灰化度が低く（カルシウムの沈着が少なく）柔らかいということが考えられます。そのため、むし歯菌に対する抵抗力が弱いのです。

いずれにせよ、日頃から歯医者さんに定期検診に行く習慣を身に付けておくことが大切ですね。

（この項続く）



一番奥に歯が生えてきています